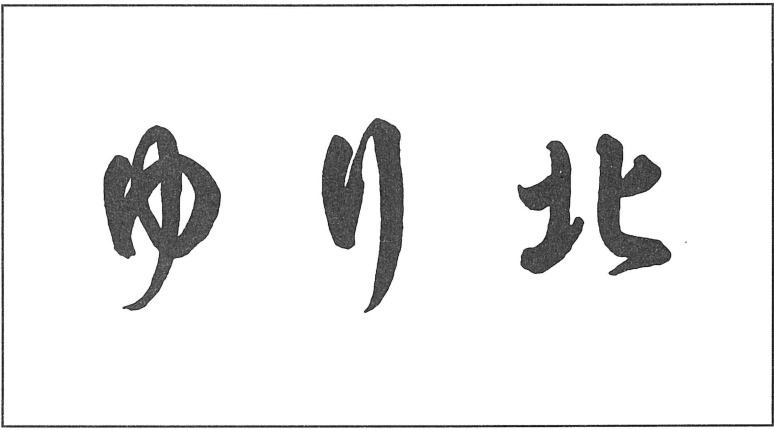




あなたの手ですてきな花壇にしてみませんか？



第259号 (24期 第3号)

光が丘ゆりの木北自治会

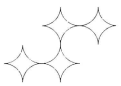
東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

発行責任者 塩 原 継 雄

「ゆり北」をみんなの力できれいな街に

「春の板橋クリーン作戦」実施



エコポリス板橋下赤塚地区環境行動委員会による「春の板橋クリーン作戦」の一環として、六月四日（日）に団地内一斉清掃を実施しました。五月以来の天候不順が尾を引き当日の天気心配されましたが、むしろ暑くもなく寒くもない絶好の掃除日和のもと、ゆりの木会、クリーンボランティアの協力を得て行うことが出来ました。昨年と比較して少々減少したとはいえ一〇二名という多くの皆様に参加頂きました。数年来の継続した行事として住民間に定着したこともあり、各人率先して居住する号棟周辺道路や植え込みに落ちていたゴミを拾い、燃えるゴミ、燃えないゴミあわせて四五リットルの袋

「ゆり北防災マニュアル」に反響続々

今年四月、自治会総会議案書とともに新しい「ゆり北防災マニュアル」を団地内全世帯に配布しました。総会委任状にお礼を書いてくださった方もありましたが、皆様にはお読みただけでしたでしょうか。

石塚輝雄板橋区長からも次のような礼状が届いています。

（前略）この度は、貴自治会が独自に作成された防災マニュアルを頂戴いただき、誠にありがとうございます。

早速、拝読させていただきました。集合住宅地という地域特性に対応し、また、的確かつ明瞭なつくりで完成度の高さを感じ、大変感動を覚えしました。これも貴自治会の日頃からの防災に対する意識の高さの賜物であり、深く敬意を表する次第でございます。

昨今、東海地震や首都直下型地震の切迫性が叫ばれる中、今年度の当

で十二袋、ビン、カン、ペットボトル類二袋ものゴミを集めました。

また、十一号棟ピロティ脇に放置されていた自転車を整理し、防犯登録票や貼付シール調査を行いました。警察や関係機関へ働きかけて放置自転車のないきれいな街を目指したいと思います。

今後も、住宅管理組合、都市再生機構、清掃担当者等と意見交換を行い、また住民の皆様のご意見を伺い、出来ることがあれば一つでも実行して行きたいと思っています。改めて、一斉清掃に参加協力頂きありがとうございます。

（生活環境部）

区防災施策の重要課題として「住民防災組織活動の強化」を挙げており、貴自治会のように、地域の実情に即した防災マニュアルの自主作成も促進していく考えであります。その際に、差し支えなければ、優良実例として「ゆり北防災マニュアル」を他の住民防災組織に紹介させていただきたいと存じます。（以下略）

区長からの手紙にあるとおり、区では住民防災組織活動強化のための支援マニュアルを作成して配布する方針で、六月九日に開催された下赤塚地区町会・自治会長会議の席上、板橋区危機管理室の職員から説明があり、「ゆり北防災マニュアル」が紹介されました。下赤塚地区に限らず、他地区の町会・自治会長会議でも紹介されているとのことでした。

商店街広場に花を咲かせましょう
ボランティアを募集しています

ゆりの木商店街広場には六本の街灯が立っていてそれぞれの根元に花壇が設置されています。そのうち二か所はツツジなどが青々と茂っていますが、残りは現状荒地と化しています。数年前、都市再生機構（機構）がハーブの種をまいてもやしのような力モミールが花をつけたものの、翌年には元の木阿弥となっていました。

先月、商店街の駐輪場設置工事ともない一番北側の花壇が撤去されました。その際の調査で花壇に構造上の欠陥はないことが判明したので、機構では今後、土を入れ替え、水はけの改善を図るということです（左上写真）。また、その後の花壇の管理を住民の手に委ねたいと言っています。すでにその気になって動き



始めた方もいます。花と土が好きで
お手伝いいただける方がいらっしや
いましたら、是非ご協力ください。
お申し込みはお手近の自治会役員ま
で。ご応募をお待ちしております。
（生活環境部）

自治会からのお知らせ

「ゆりの木夏まつり」

開催日 八月二十六日（土）
二十七日（日）

場 所 ゆりの木商店街広場
およびその周辺

八月最後の週末に、第二十三回ゆりの木夏まつりを開催します。皆様の積極的な参加と協力をお願いします。

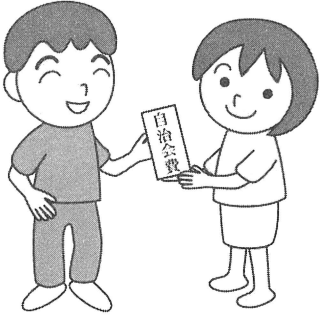
まつりボランティア募集、模擬店・フリーマーケットについては、会報「ゆり北」七月号およびポスター・チラシなどでお知らせします。
（夏まつり実行委員会）

一日だけです
自治会相談窓口を開きます

自治会では、二〇〇一年七月七日に自治会窓口を開設、翌年三月二日までほぼ毎月開いて、入会の受付あるいは会員のご意見・ご要望を伺うなどしてまいりました。その後も継続の方針は変わりませんでした。が、担当する役員の負担が重いことと、会長が交代したこともあって再開には至りませんでした。

今回、一日だけです。下記の通り自治会相談窓口を開くことになりました。どうぞお気軽にお出掛けください。

日時	七月九日（日） 午前九時～午後六時
場所	十二号棟自治会事務所 光が丘クリニック隣 「ゆりの木保育園」前の時計塔下の階段を上るか、 十一号棟のエレベーターで二階に昇り、左手の橋を渡る
内容	①団地生活に関する相談 ②自治会加入受付 ③自治会費払い込み受付 ④その他



会報「ゆり北」に
原稿をお寄せください

自治会会報「ゆり北」は、会員相互の「交流のひろば」を目指しています。原稿のほか、さまざまな話題をお寄せくださいますようお願いいたします。

（広報部）

自治会費納入のお願い

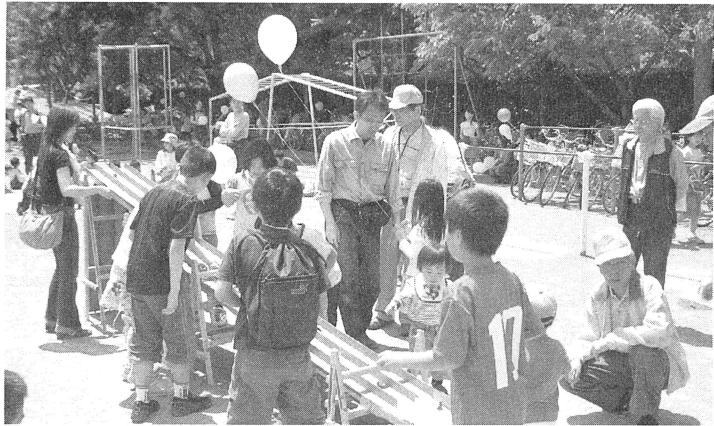
七月は自治会費第一期分（四月～七月分）一、二〇〇円の集金月です。七月十日頃から自治会役員・世話人が集金に伺います。なお一年分（三、六〇〇円）の一括全納もできますので協力をお願いいたします。

七月九日（日）には、自治会相談窓口でも会費払い込みを受け付けます。是非ご利用ください。
（事務局）

大成功の下赤塚子どもまつり…ばんざい！

ゆりの木児童館館長 竹谷幸子

美しい若葉の季節となりました。晴天のすがすがしい五月二十一日(日)、「下赤塚子どもまつり」が下赤塚小学校で開催されました。当日、お祭りにくりだした地域の方々の人数は約三千人。汗にまみれながら、親子でお祭りを楽しむ光景が校庭いっぱい展開されました。児童館は、今年も、赤塚新町・ゆりの木・あさひが丘の三館が共催し子どもコーナ―を担当しました。「ダーツであそぼう！」には子どもたちのわくわくはしゃぐ楽しそうな声があふれ、「折り紙飛行機」には乳幼児をお連れのお母さんやお父さんも参加。手作りおもちゃを製作してアップダウンのコースにチャレンジする「スーパードロリン」には、大人のスタッフや保護者の姿にまじって、中学生のお兄さん、お姉さんたちが幼い子ども達をサポートする優しさが見受けられました。あちこちで活躍する中高生リーダーに、頼もしく心熱くさせられたお祭りでした。



今、子どもたちが、巻き込まれる卑劣な犯罪が後を絶ちません。子どもや若い人が育っていくためには、善悪をはっきり教えてくれる大人が大切です。地域のおじさん、おばさんたちは、日頃から子ども達に生きていく上での知恵を教えたり、世間を教える役割を担ってきたのだと思います。地域の児童館もそのお役に立ちたいと願っています。毎年、このようなお祭りや地域のイベントをとおして、健康で明るい下赤塚の風土を地域の方々と一緒に積上げていきたいものです。

「ゆり北」は今年も焼きそば係

青健実行委員 辛島由美子

「下赤塚子どもまつり」は、青少年健全育成下赤塚地区委員会(青健)、町会連合会下赤塚支部、あさひが丘・ゆりの木・赤塚新町児童館の共催で毎年五月に行われ、今年で十三回目となります。その運営のかんりの部分を、下赤塚地区十七町会・自治会から選出された六十二名の青健実行委員が担います。

ゆり北の実行委員は、十三回の子どもまつりのほとんどで焼きそばの調理を担当してきました。最初の頃は高橋廣志さん、田中奨さんと三人で、キャベツの切り方が大きいの小さいの、肉が多いの少ないの、一度に何玉のそばが焼けるか、手順をどうするかなど試行錯誤を繰り返して、味付けも、一回ごとに味見をして工夫を重ねたものでした。そのかいあって近頃は味も安定し、無言で、あるいはせいぜい「ツギッ」「ハイッ」「ヨシッ」というやり取りでスムーズに作業が進みます。田中さんは、自分専用のヘラ二本を持参するという入れ込みようです。



今年は、昨年転出した高橋さんの代わりに加わった梨本幸男さんと、強力な助っ人平野行雄さん、自治会長の塩原さん(青健の理事でもあります)、それに体育指導委員の山田一雄さんの六人で二枚の鉄板にはり付き、焼きそば五百四十五分、およそ千皿を焼き上げました。しかも、最後の一皿までキャベツと肉が入っていて、その上、サラダ油を含め食材のすべてを使い尽くすという奇跡のようなことをやってのけたのでした。

六人の中で一番若い梨本さんは初めての経験ということもあって、「ハードですね」を連発していました。一保護者として会場を訪れた自治会広報部の今泉純一さんは次のように話しています。

「毎年、息子は楽しみにしています。実行委員の方々は暑い中ご苦労様でした。(特に焼きそば担当は、鉄板の熱とお日様の熱で自分たちが焼きそば状態でした)」

地域の子供たちが楽しめるこのような催しが今後も長く続く事を期待しています。頑張ってください。

来年もまた焼きそばが食べたいなあ…。」

ゆりの木会から

定期総会開催

五月二十九日(月)午後二時から、赤塚新町光が丘集会所で定期総会を開催しました。会員数五十二名、出席二十三名、委任状八名でした。他に賛助会員一名、来賓として自治会役員三名にご出席いただきました。議事は、いずれも原案どおり承認可決されました。

総会に引き続いての懇親会では、四月から九月生まれの方に誕生祝品、喜寿を迎えられた方に記念品を贈りお祝いました。民謡、懐メロが飛び出し、和気あいあいの盛會裡に、午後四時、お開きとなりました。



小学校のセーフティー教室に参加して

五月二十七日(土)、赤塚新町小学校の学校公開にあわせてセーフティー教室が行われました。子ども見守り隊の協力員にも案内をいただき、不審者対応訓練もあるというので興味津々、行ってみることにしました。

午前十時二十分、職員玄関から不審者侵入。大会議室前の廊下で、いかにもそれらしい「不審者」と手に「さすまた」や長柄の箒(相手の顔、特に目のあたりを攻めると効果的です)を持った教職員が大捕物を演じました。校長先生がさすまたで侵入者の腰を抑え、動きが止まったところに「ネットランチャー」(投網のようなもの)を発射。動けなくなった侵入者の膝の後ろをさすまたで押せばたまらず四つんばい、あえなく御用となりました。

その後、全校児童が体育館に集合して高島平警察署生活安全課の婦警さんやスクールサポーターの話を聞

入会のおさそい

ゆりの木会は、地域で豊かに楽しく過ごすにはどうすればよいか、会員が相互に知恵を出し合い、話し合いながら活動しているシニアの集まりです。

会では、月一回会報を発行しています。また、社会奉仕として、月四回の日曜日を道路清掃活動に当て、アルミ缶の回収も随時行い、会の財政に貢献しています。

月一回の「憩いの日」には、輪投げの練習、公園の散歩やお茶菓子を食べながらの懇談などをします。

手芸サークルは、月二回、第二・第四水曜日に、牛乳パックを利用して箱やタンスなどを制作します。ちぎり絵、押し絵などを教えてもらうこともあります。また、生け花、ピンポン、グラントゴルフなどの新サークル結成に向けて準備中です。会は、年一回定期総会と新年会を

いたり、ビデオを見たりしました。ビデオのテーマは「知らない人にはついて行かない」でしたが、知っている人でも絶対安全とは言えないのが悲しいこのごろです。連れて行かれそうになったら「たすけてー」と大声で叫びましょう、ということ。学年ごとに叫ぶ練習をしましたが、五、六年生は照れくさいのか大きな声が出ませんでした。

ゆり北の団地内では、車による事件はまずないと思われていますが、エレベーターや階段など集合住宅特有の危険な場所があり、決して油断はできません。事件に巻き込まれたとき、不審人や車を見かけたときはすぐに一一〇番してほしいと警察は言っています。通報者は名前を尋ねられますが、都合が悪ければ名乗る必要はないということです。

野次馬根性から参加した教室でしたが学ぶことも多く、ゆり北の安全について改めて考えさせられました。

(子ども見守り隊 Y子)

開催し、親睦もかねて会員間で意見交換をします。また、誕生日のお祝い、喜寿・米寿のお祝い、奉仕功労者へのお礼なども行っています。

仲間と和気あいあいと過ごすことは、健康を保つ秘訣です。ゆりの木会には六十歳から入れます。入会ご希望の方はお名前と連絡先をお書きの上、十号棟集合郵便受けの「ゆりの木会ポスト」にお入れください。皆様のご入会をお待ち申し上げます。

(ゆりの木会 西澤)

